

## 巻 頭 言

今年の夏も暑い夏です。猛暑日が続いています。皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

さて、今回は昨年度の総会の折に講演された鍛冶さんが、講演内容を纏めてくださっています。動く折り紙と言われるカライドサイクルの話題です。講演も、実際に紙で組み立ててみるという実体験付きでした。数学的な裏付けがあって、こうしたものが作られているのです。数学理論を、実物を前にして実感できるということに、今までにない新鮮さがありました。そして、講演を纏められる際には、文字起こしに AI を使われたそうです。AI は ChatGPT の出現以来、瞬く間に生活の中に入り込んできた感じですが、今後もますます影響力を増していきそうです。

AI などに代表される科学技術の進歩には目覚ましいものがありますが、AI 以外にも個人的に興味を持っているものに宇宙があります。一番近い宇宙は月といってよいでしょう。月に行くことは長い間人類の夢でしたが、それはアポロ 11 号によって 1969 年に成し遂げられました。とはいっても、月はまだまだ気軽に行けるところではありません。

そんな中で実は日本でも月を目指す計画が進められています。ispace という、なんだか iPhone みたいな名前の (i を付ければいいってもんじゃないだろう) 民間企業が、月へ衛星を送り込むミッションに挑みました。日本では JAXA (宇宙航空研究開発機構) というのがよく知られています。こちらは国の機関ですが、民間企業が取り組んでいるというところに興味をそそられます。ispace 社が取り組んでいるミッションの名前は HAKUTO-R。衛星は SpaceX 社のロケット Falcon 9 Block 5 を使って 2025 年 1 月 15 日に打ち上げられました。そして 6 月 6 日に月面へ接近、着陸態勢に入ったところで通信が途絶えてしまいました。おそらく月面に激突したのではとされており、着陸は残念ながら失敗してしまいました。このことは一部で報道はされましたが、あまり話題にはならなかったようです。成功していれば、マスコミでもにぎやかに報道されたかもしれません。

実は今回のミッションは 2 度目で、2023 年にも月を目指したのですが、やはり着陸に失敗しています。いまだ成功には至っていないのですが、ispace 社は今後も月を目指してミッションを継続しています。夢を続ける姿は、ロマンがあいいいじゃないかと思いますが、一方で一山当てて大儲けしてやろう、という山師的野心もどこかにはあるのでしょうか。実際、ispace 社の後ろには三井住友銀行がオフィシャルパートナーとしてついています。他にもコーポレートパートナーとして、日本航空株式会社 (JAL)、シチズン時計、SMBC 日興証券などの企業が名を連ねております。宇宙をこれからのビジネスチャンスととらえているようですね。そのうち、月面に宇宙基地が建設されるかも知れません。

こうした科学技術の根底には数学があります。そのうち京大数学を出た人たちが、月を目指す、というような取り組みにかかわるようになるかもしれません。数学が必要とされる場は多方面にわたっているので、いろいろな方面で皆さんの活躍が見られるのではないかと楽しみにしております。

2025 年 8 月  
会長 重川 一郎